

(C)「占領」の主要7カ国閣僚会議（C7）で占領サミット）が21日開幕しました。初めて被爆地で開催されるサミットでありたいと企む、核兵器廃絶への前向きな動きを示すとともに、原爆投下されたがために、被爆地を訪れるのがいかが、放射能が残っているからなど、反対されてしまった。しかし、眞鍋が命懸けで「核兵器のない世界」を「筑禪の目標」として永遠に先送りし、「核抑止力」論に固執する姿勢を公然と打ち出したまゝでした。被爆者をはじめ国内外の多くの人が失望の声と批判が相次いでこまゝ。被爆地から被爆者を離れたメッセージを出した占領サミットの議長・岸田文雄首相の責任は重大です。

広島G7サミット

主張

音楽観で、「核軍縮を図ることで、脳髄炎問題」を発表(19)。田(1)こだわりの「歴史的な意識」を強調しました。しかし、ソジア田(2)は、核兵器は「歴史的たる」に役割を果たし、侵略を阻止し、戦争と威圧を防止する」と「核兵器止力」論を正面化しました。

る上ジンではありません。被爆者から「死者に対する侮辱だ」と怒りの声が上がるのは当然です。

井田副相は答弁で、C-7首脳が被爆者の声を聞き、平和を願う人々の思いに直接触れたことでも成果として誇りました。しかし、ビジョンでは、核兵器そのものが非

がない」と指摘しています。

「上ジンは核不拡散条約（NPT）の第6条に基づいて「国際機器の完全廃絶の明確な約束」（C-800年のNPT再検討会議の最終文書）など、核兵器開発国が核兵器の義務を果たすようにしてもらう触れていません。昨年8月6日

は「最初の国及びセイ、完全に無視し  
おした。核兵器廃絶を求める国際  
世論に賛成に向かい現れひつゝの傾  
があらわになりてこある。

**被爆者への裏切り許されない**

これが、いまやじつは核兵器を使用して、広島・長崎のような非人道的な惨禍を引き起こすことをためらわないと立場です。78 年前、人類史上初めて都市に対して核兵器が使われ、おひただしく命が奪われ、壊滅的な被害を受けた広島といふ名前を冠して発信す

人道的な兵器だとつい告発はありません。核兵器廃絶国際キャンペーーン（ICAN）のタマエル・ホーラン暫定事務局長は、原爆資料館や被爆者との面会で感じたことがあります。「(ICAN) がいるはずだ」といつ、「(ICAN) に金で攻撃されてしまう」「原爆禁止条約についても」などと著実な広かりをみて、国際社会としての地位が確立していく核

(ロシアの反対で採択されず) を受け入れています。この到達点で、受ける声を向けたCGTの姿勢が敵視され、問われます。

確認した最終文書を

ナショナルを記念被爆者や市民・平和団体が「広島で開催するなり、核兵器廃絶の先頭に立っていくべきだ」と日本政府に求め続けました。国際的な市民社会からも要請がありました。その願いになりましたが反対した鷹田首相など、唯一の戦争被爆国の政権を担う資格はないませど、核兵器禁止条約に参加する新しくて政治の実境が義務です。